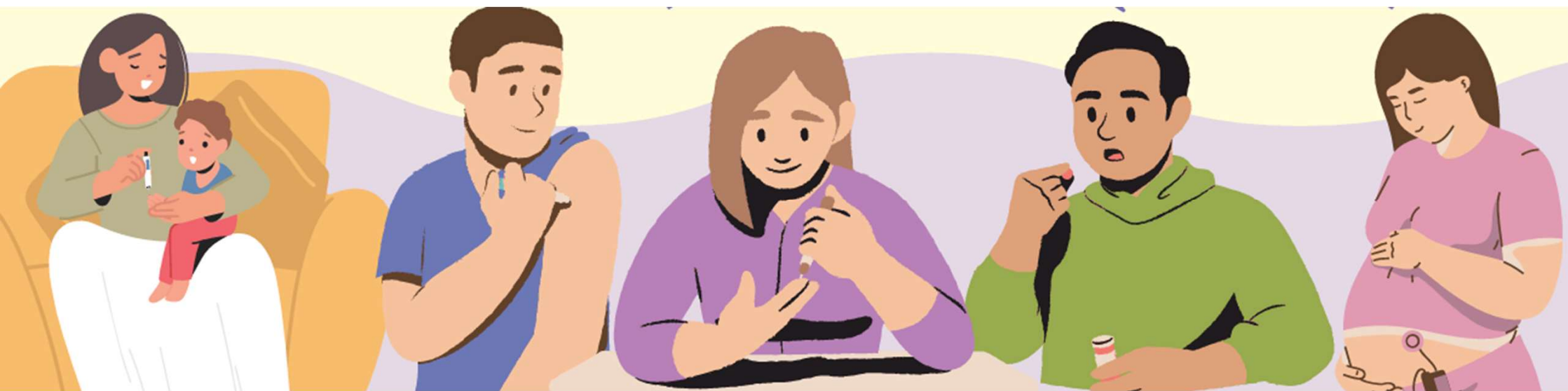


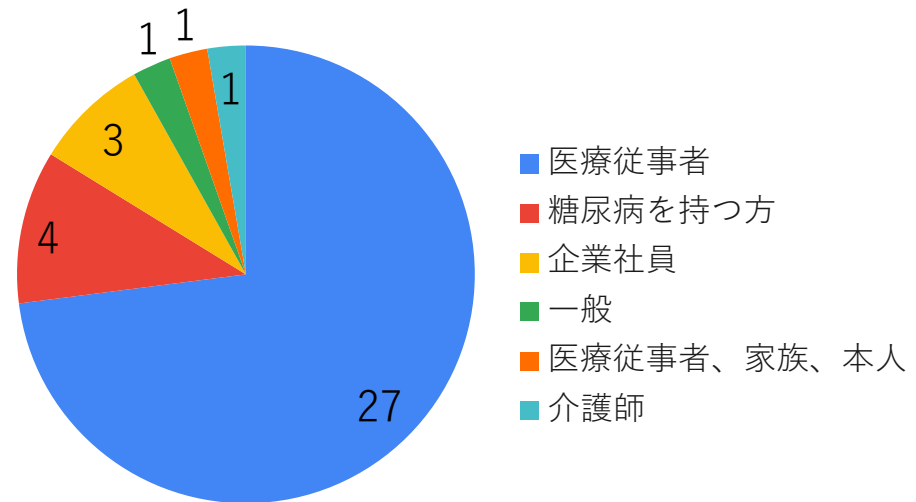
2026年日本糖尿病年次学術集会
「糖尿病とともに生活する人々の声をきく」
シンポジウム
終了後アンケート集計結果



回答者の属性

回答者の属性をおしえてください

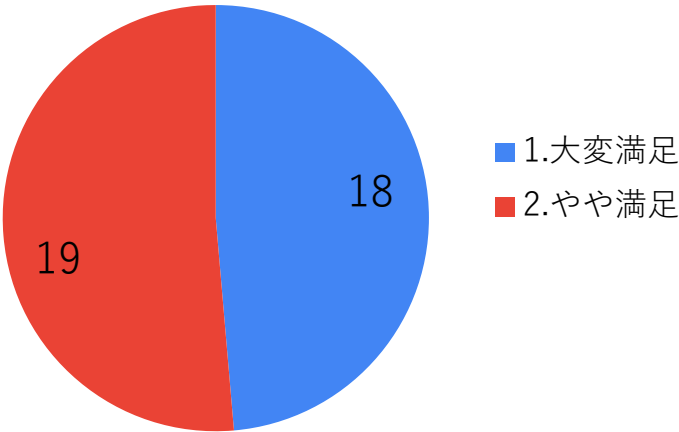
医療従事者	27
糖尿病を持つ方	4
企業社員	3
一般	1
医療従事者、家族、本人	1
介護師	1
総計	37



シンポジウム全体の満足度

シンポジウム全体の「満足度」を教えてください。

1.大変満足	18
2.やや満足	19
3.どちらともいえない	0
4.やや不満	0
5.不満	0
総計	37



満足度の理由1

- 糖尿病患者の生の声を聞けるため
- 普段ご高齢の糖尿病を持つ方と接する機会が多いので、普段より若い方の生の声を聞くことができて良かったです。
- dmf神戸参加し、お話頂いたから
- 色々な背景を持った人が糖尿病とどう向き合っているか勉強になったため
- 個人によって考え方、疾患への向き合い方にいろんな形があることを再認識できました。
- 医療者にとってはたくさんいる患者さまですが、お一人おひとりが、糖尿病をもってずっと人生を送っているんだと改めて感じました。患者さまに教えていただくことがたくさんあると感じました。
- 病棟看護師のため、入院中の患者さんとしかお話す機会がないのですが、実際に糖尿病と診断を受けてから色々経験して、今楽しく生きている方々の話を聞いたのが貴重でした。患者さんへ接する際に、その方は今までの人生の積み重ねや価値観があって、これからは糖尿病を持ちながら、自分らしく生きていくんだな、ということを意識したいと思いました。
- 医療者として寄り添うため、お一人お一人の経験談はとても大切に思っています。
- 東京の学会の時とも違う、皆さんの思いがあってお話を伺うことができて良かったです。自分の関わり方を振り返ることができました。
- 糖尿病を持って生活されている実体験と診断されて以降のお気持ちや医療者へのご意見などを生の言葉でお伺いできた事。
- 患者さんの貴重な意見を聞いたので。
- 病気を受け入れてしんどいことも工夫しながらも、その方らしく明るく生活している声を聞けて感動しました。参加型でコメントをリアルタイムで拾ってくださるのは、工夫されていてとてもよかったように思います。

満足度の理由2

- リアルタイムでコメントできてよかった。会場からのマイクでの声もあればよかった(あらかじめ用意しておく?)
- 患者さんの生の声を聞けたし、高校生の子が素直な気持ちを表出してくれて、場の雰囲気のを和ませてくれた。主治医の先生との心理的安全性の確保もあって、あんなに自由に話してくれたんだと思いました。ありがとう💕
- 長時間かけて患者さんの生の声を聴く機会は他にないから。
- 5人の経験。本当に一人一人自分と向き合うことの大切さを実感しました。
- PwDの方の声を聞く機会が貴重であり、非常に有意義でした。ありがとうございます。
- 実際の生活、思い、向き合い方、他方面で勉強になりました。
- 実際に糖尿病の患者さんの意見を聞くことがあまりないのでとても貴重な体験でした。講演された皆様の話がとてもためにあり、今後の療養指導にいかせると思いました。2時間半とても集中して参加させていただきました。来年度もこのようなセッションがあれば必ず参加したいと思えます。この3日目のセッションに参加するだけで今回の糖尿病学会こさせていたただいた意義に繋がりました。ありがとうございました。
- 色々な状況の方の糖尿病との生活や思いを聞くことができ、今後の支援に活かせそうと感じました。
- 学会に患者さまが入ってこられ、生の声が聞ける、また患者さまは生の声が発信できる素晴らしい機会である。
- 自分が診療している患者さん以外の方の考えておられることがわかる機会だから
- 様々な型の糖尿病を持っている方の話が良かったです。不良患者と自分と言われていた方の妊娠出産を経験された話は、とても勇気づけられました。また高校生の話も笑いをとって、関西らしさが出ていたように思います。
- 普段1型当事者として同じ1型の話しか聞かないので、異なるタイプの糖尿病の話も聞くべきだと感じた。それぞれ抱える困難は様々で100%理解できなくても、少しでも寄り添うこと、他者に優しくなれるきっかけになれば良いと感じたので。

特に印象に残った言葉やエピソードはありましたか？ あればぜひ、教えてください。

- 二個下の妹がそろそろ妊娠を視野に入れてるかもしれないのでとても参考になりました
- 普通に接してほしい
- 生の話し全て
- 特別扱いせず、普通に接してほしい
- 普通に接して欲しいとの声に普段気にしていないうつもりであったが、なるほどと思いました
- ○○くん（5人目発表者）と先生の関係性良さがとても印象的でした
- 小さな幸せを自分で見つけるという言葉に感動した
- 自身がT1DMであることにアイデンティティを感じる、という言葉は聞いて嬉しかったです
- 普通に接して欲しいと言うこと
- 医療従事者に言われたことで、嫌な思いをしたことよりも励まされたエピソードを皆さん話してくださっていたのが印象的でした。患者さんを勇気づけられる医療者でありたいと思いました。
- 糖尿病という名前についての皆さんの答え
- 全く新しい病気になっても結局説明で糖尿病と使わなきといけないという話。確かにそうで、本質は病名ではないし、病名を変えると一部のスティグマが払拭されても、これまでの糖尿病に間するアドボカシー活動してとか色々なものも切り捨てられてしまうのではないかとも思いました。
- ○○くん（5人目発表者）の放し飼いにしてもらっているという言葉が、信頼関係ができていて素敵だなと思いました

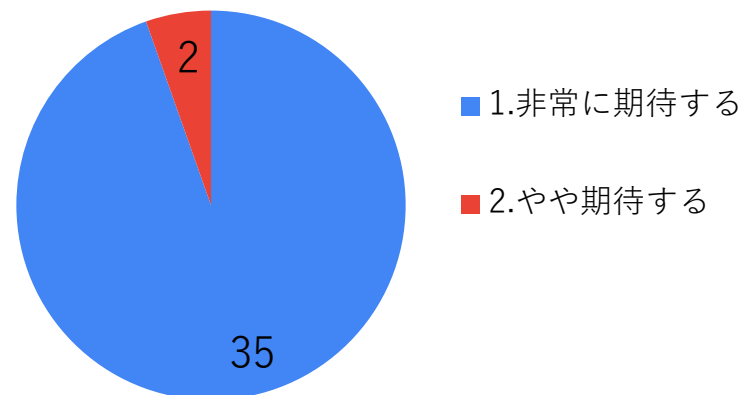
特に印象に残った言葉やエピソードはありましたか？ あればぜひ、教えてください。

- インスリンポンプ装着下でサッカーができるという話は印象的でした。自動モードの良さも痛感しました。
- 低血糖で倒れた時は助けて欲しいけど、普段は普通に接して欲しい。自分で対応できるから。
- 患者さんみんなが、普通に接してほしいと言われてたところが泣けました。私も、そうしようと思いました。
- 1型糖尿病というアイデンティティが、良くも悪くも、自分を作っていた、という趣旨の言葉がその通りだと心に残りました。
- インスリンポンプで、画面上TIRがすぐに見れることが患者さんにとっては逆にプレッシャーとなっている。
- この人と決めるには今回は、難しかったです。
- 発表者全員の言葉が前向きで素晴らしかったです。
- MODYと途中から診断名が変わり、1型糖尿病がアイデンティティであったことを気づいたという話。また、お子さんの遺伝子検査が本人の同意がないとできないという所が、糖尿病という状況にかかわらず深い話と感じました。
- 「医療者は寄り添ってくれる」「のばなしにされている感じがいい」という意見がある一方で他科の医師の発言「糖尿病のせいでしょう」で済ます医師はまだ世の中の風潮としてある。
- 登壇された患者さんは、糖尿病という病名をあえて変えてほしいと思っておられないことがわかったこと
- 美味しい物は、糖や脂質だけじゃない。という言葉は、納得しちゃいました。
- ○○さん（1人目発表者）の災害関連の話。「どれでもよいのでインスリンの確保を。選べるならどれにする？」改めて考えさせられる機会になった。

次年度のシンポジウム開催への期待

来年以降も「糖尿病とともに生活する人々の声をきく」
企画の開催を期待しますか？

1.非常に期待する	35
2.やや期待する	2
3.どちらともいえない	0
4.あまり期待しない	0
5.全く期待しない	0
総計	37



来年以降も「糖尿病とともに生活する人々の声をきく」企画を行う場合、聞いてみたいこと、議論してみたいことはありますか？

- 経験談や気持ち、医療者への要望など
- 医療者への希望。
- 医療者に話しにくかった事はなんだったのか、どんな声かけがあると話しやすいのかお話を伺いたいです。思春期の子であれば、性教育とともに性の話題を出すことができますが、青年期や壮年期の方の性の悩みなどは、こちらからも困っているかどうか把握をしにくい内容なので難しさを感じてします。
- どういう外来治療を追加で受けられたら嬉しいか、現在の診療の良い点、改善してほしい点、それぞれ率直な意見を聞けたら、より良い医療にフィードバックできそうです。
- 全国各地で、糖尿病治療で良い点、悪い点の地域差あれば知りたいです。
- 傷ついた言葉、助けられた言葉を素直に教えて欲しいです。後は、医療従事者はどうして欲しいか教えて欲しいです。
- 医療者にどう接してほしいかをもっと深掘りしたいです。
- 糖尿病と言う呼称変更について。ですが、私もこの3回参加しましたが、何となくですが地域格差を感じました。
- 2型糖尿病をもつ方のお話もっと聴かせて頂きたいと思いました。
- 今回の内容で充分です。高校以外の小、中学生の声も聞きたいです。
- 今回の議論でもありましたが、医療従事者（検査技師）としてどのように患者様に接すると安心してもらえるかなど、知りたい。

来年以降も「糖尿病とともに生活する人々の声をきく」企画を行う場合、聞いてみたいこと、議論してみたいことはありますか？

- 正直私は学会参加させて頂くと、患者としてこれだけ沢山の方がお金と時間をかけて糖尿病のこと考えて下さってると感じる感謝の気持ちと「糖尿病患者さまとかまではいかないよ」って複雑な気持ちです。糖尿病を持った医療者の方が学会に参加され、どんな思いを持っておられるか本音が聞ける場所がほしいです。
- 自分とは違う分類の糖尿病の方が、自分の型の事をどのように考えているのか？例えば自分が1型の場合、2型の方やその他の疾病で糖尿病になった人が、どのように捉えて理解しているのか？病態は違うけれど、患者同士が理解し合えたらいいなと思う。